

令和5年度は新型コロナが5類に移行し社会が新たな枠組みの中動き出す中で、令和6年1月には能登半島地震が発災するなど変化する状況への迅速かつ適切な判断・対応の求められる年となりましたが、静岡県作業療法士会は、公益事業への積極的な参画と事務局機能の強化と共に、会員にとって身近な県士会へと力を注いできました。様々な制限を受けていた公益事業の普及啓発事業や、第36回静岡県作業療法学会をはじめとした各事業も変わりゆく状況に対応すべく実施体制を検討し、無事終わられましたことにこの場をお借りして深く感謝申し上げます。その中で「県士会の中長期ビジョン」と「ライフワークバランス（会員誰もが活躍しやすいプロジェクト）」の2つのワーキングを継続し、今後の県士会のあり方や会員誰もがそれぞれのライフイベントの中で輝きを持って力を発揮していただけるための検討も進めますと共に、会計機能の整備、規約・規程の検討整備など事務局機能強化にも努めてまいりました。併せて「協会員＝士会員」への体制整備と組織率の維持向上への視点で、事務局を中心に非会員や退会者に向けての働きかけ、県士会・会員相互の風通しをより良くするための方策としての施設代表者会議の開催、そして公益社団法人としての継続課題とさせていただいております部局や委員会などで県士会活動にご協力いただく会員の皆様への、規程に基づいた謝金の支払い、それぞれ該当部局の尽力により更に詳細課題を検討しつつ継続できておりますこととお知らせしたいと思います。

更に、静岡県理学療法士会および静岡県言語聴覚士会で構成される静岡県リハビリテーション専門職団体協議会（以下、三団体協議会）においては、県内35市町が担う介護予防・日常生活支援総合事業への参画、訪問リハビリテーションにおける人材育成研修、大規模災害に備えた静岡 JRAT（大規模災害リハビリテーション支援団体協議会）との組織運営など、公益事業を協働で積極的に行ってまいりました。特に令和6年能登半島地震においては、静岡 JRAT（大規模災害リハビリテーション支援団体協議会）として事務局機能の役割を果たすと共に、多くの会員にも派遣対応いただきましたことお知らせいたしますと共に、感謝申し上げます。

以下、当士会は4つの基本方針に基づき、令和5年度の活動および事業展開につきまして報告いたします。

1. 作業療法に関する学会・研修会の開催と、作業療法士の教育向上

学会や研修会など会員の資質向上を目的とした事業は、県民のための公益事業と位置付けています。共生社会を目指して、県や市町、関連団体からの委員や講師派遣の依頼への対応をはじめ様々な場面で広く県民に作業療法士としてその力を発揮し、要望に応えられる適正な人材を育成していくことは大変重要であると考えています。

令和5年度は会員の知識・技術向上を目的に、開催・運営方法への工夫を継続し研修会を開催し、自己研鑽の機会を提供いたしました。

第36回静岡県作業療法学会は「実現への挑戦 ―静岡と作業の魅力を発信―」をテーマとして岡本博行学会長の下、新たな取り組みとしてオンデマンドでの開催をいたしました。東部地区の実行委員をはじめ多くの会員の皆様のご尽力に心から敬意を表するとともに、次年度以降につながる新たな学会のあり方を模

索いただきましたことに深く感謝を申し上げます。

研修会については、学術部および教育部を中心に県内各地区で開催されました。

学術部は分野別に4つの班（高次脳機能障害・モビリティー班，精神障害班，発達領域班，認知症班）の位置づけで各分野で研修会を開催しました。教育部は，臨床実習指導者講習会を安定的に開催し，日本作業療法士協会における生涯教育に沿った現職者研修と事例報告会，MTDLP 研修会を開催し，手帳移行にもご尽力いただきました。また，制度対策部での研修会に加えて，地域包括ケアシステム推進委員会では地域リハ推進リーダー研修会地域リハビリテーション推進員活動支援事業の実施に至っております。さらに三団体協議会では，シズケア*かけはし普及拠点推進事業としての研修会，訪問リハビリテーション多職種協働研修会，災害リハビリテーション研修会を開催しています。

2. 作業療法の普及・啓発と広報に関する事業

この事業の目的は，作業療法士が「県民の健康に寄与できる専門職である」ことを啓発し，県下全域に作業療法を普及・展開することにあります。公益性が高く県民の方々に関わる事業や広報活動について，地域事業部・広報部を中心に活動を行いました。令和5年度は，メディメッセ2023，作業療法士次世代育成事業として高等学校出前事業や施設見学や啓発活動としてのフォトコンテストなどが実施されました。また，学術部の各分野班を中心にそれぞれの分野に対応して行政機関との連携強化や地域住民への啓発活動に関わる事業を行い，広報部では従来の会員向け・一般向け広報誌の発刊と併せて，身近な県士会を目指し，プッシュ通知や公式LINE導入を推進してきました。

3. 会員の共益に関する事業

当士会では，会員の多くを占める子育て世代の支援と次世代を担う人材の育成が重要課題と考えています。そのため，会員の共益に関する事業に工夫を凝らし，若い世代の会員から多くの「生の声」を聴ける機会を増やしていきたいと考えています。「ライフワークバランス（会員誰もが活躍しやすいプロジェクト）」のワーキングでは情報収集・事業への具体的な対応について各部局と協働して進めています。福利部は，東海北陸リーダー養成研修会及び第9回静岡OTリーダー育成研修会やしずおかOTスポーツで交流会を開催し，表彰委員会では，県内養成校卒業生の中から4校各1名ずつの優秀学生の表彰を行いました。

4. 公益法人としての士会機能の充実を図る事業

当士会の公益法人としての事務局機能の強化は，大変に重要であり，定款に基づく規約・規程の修正，会計システムや組織体系の醸成が挙げられます。当士会が公益法人として，協会員＝士会員への組織管理体制への移行や，未来を見据えた計画的な運営がなされるよう，予算審議委員会を実施するとともに組織強化の基盤となる第2回施設代表作業療法士会議を継続開催いたしました。また，長年に渡り事務局員として当士会活動にご尽力いただきました2名の事務局員の交代に伴い事務局機能が維持できるよう，新規人材採用対応及び引き継ぎへの対応を行いました。今後も引き続いて組織力強化と長期的な視野に立った取り組みに努めてまいりたいと考えております。

以上，令和5年度の主な活動報告であり，詳細については以下の各部報告をご参照下さい。

令和5年度 会長活動

日 付	事 業
令和5年 4月 3日	専門学校 富士リハビリテーション大学校 入学式
令和5年 4月 20日	第1回 JRAT 定例会議（オンライン開催）（会長・村岡副会長）
令和5年 4月 23日	第1回理事会（ハイブリッド開催）
令和5年 4月 26日	静岡県自立支援協議会 地域移行部会事務局会議
令和5年 5月 31日	静岡県自立支援協議会 地域移行部会 研修ワーキング（オンライン開催）
令和5年 6月 2日	静岡社会健康医学大学院 学長対応
令和5年 6月 6日	静岡県自立支援協議会 地域移行部会ピアワーキング（オンライン開催）
令和5年 6月 10日	第1回日本作業療法士協会会長・都道府県士会長会議（オンライン開催）（村岡副会長・川口副会長）
令和5年 6月 10日	令和5年度定時社員総会（ハイブリッド開催）
令和5年 6月 10日	第2回理事会（ハイブリッド開催）
令和5年 6月 17日	第26回静岡県理学療法学会大会 開会式（川口副会長）
令和5年 6月 25日	静岡県公認心理師協会 設立記念式典
令和5年 6月 29日	P・O・S 会長会議（オンライン開催）
令和5年 7月 1日	令和5年第1回三団体協議会定例会（会長，副会長，大石理事，加納理事出席）
令和5年 7月 18日	静岡県自立支援協議会 地域リハビリテーション部会
令和5年 7月 21日	富士リハビリテーション大学校 職業倫理講義・管理運営
令和5年 8月 13日	第3回理事会（ハイブリッド開催）
令和5年 9月 9～10日	第2回日本作業療法士協会会長・都道府県士会長会議
令和5年 9月 21日	静岡県自立支援協議会 地域移行部会 事務局会議（オンライン開催）
令和5年 9月 22日	静岡県自立支援協議会 地域移行部会（オンライン開催）
令和5年 9月 22日	静岡県作業療法連盟（オンライン開催）
令和5年 9月 28日	第2回 JRAT 定例会議（オンライン開催）
令和5年 10月 4日	自民党県連，自民改革会議「厚生問題対策連絡協議会」事前協議（オンライン開催） (会長・稲葉理事・秋山理事・梶原連盟副会長)
令和5年 10月 15日	第4回理事会（ハイブリッド開催）

令和5年11月20日	聖隷クリストファー大学 講義（協会・県士会活動について）
令和5年11月28日	第3回日本作業療法士協会会長・都道府県士会長会議
令和5年12月4日	静岡県 地域移行部会 地域移行人材育成研修
令和5年12月9～10日	第22回東海北陸作業療法学会 開会式・会長会議（岐阜県）
令和5年12月14日	静岡県医師会 地域医療を守る総決起集会
令和5年12月23日	第5回理事会（ハイブリッド開催）
令和6年2月6日	静岡県教育委員会高校教育科との会議（オンライン開催）連盟（会長・稲葉理事・建木理事出席）
令和6年2月24日	第6回理事会（ハイブリッド開催）
令和6年3月6日	専門学校 富士リハビリテーション大学校 卒業式
令和6年3月7日	聖隷クリストファー大学 卒業式（秋山理事出席）
令和6年3月9日	静岡医療科学専門学校 卒業式（メッセージのみ）
令和6年3月9日	第4回日本作業療法士協会会長・都道府県士会長会議
令和6年3月10日	臨時理事会（ハイブリッド開催）
令和6年3月30日	令和5年臨時三団体協議会定例会（会長・副会長・大石理事・加納理事出席）

令和5年度 各部事業報告

【渉外部】

1. 日本作業療法士協会長・都道府県士会長会議への出席
2. 日本作業療法士協会制度対策部との連携
3. 三団体協議会役員会への出席（オンライン開催）
4. 各種関連団体の学会・公開講座等への後援
5. 県内養成校の入学式・卒業式への出席・祝電対応
6. 自治体事業等への委員派遣
 - ・静岡県健康福祉審議会 委員
 - ・静岡県精神保健福祉審議会 委員
 - ・静岡県高齢者・身体障害者住宅改造費補助事業 相談員
 - ・静岡県障害者自立支援協議会地域移行支援部会 委員
 - ・浜松市若者支援スーパーバイザー 派遣
 - ・浜松市精神障がいに対応した地域包括ケアシステム推進連絡会 構成員
 - ・富士市介護予防・日常生活支援総合事業 指導員
 - ・袋井市障害者計画推進協議会 委員
 - ・駿東田方地域リハビリテーション強化推進事業連絡協議会 委員
 - ・富士リハビリテーション大学校作業療法学科教育課程編成委員会 委員
 - ・各市 障害者程度区分認定審査会 委員（静岡市，浜松市，沼津市，島田市，川根本町）
 - ・各市 介護保険認定審査会 委員
(静岡市，浜松市，伊東市，伊豆市，伊豆の国市，三島市，富士市)
 - ・小笠医師会 小笠掛川保健・福祉・医療研究会 委員
7. 自治体・関連団体への講師派遣
 - ・静岡県介護支援専門員協会・介護支援専門員研修会 講師
 - ・袋井特別支援学校 校内研修会 講師
 - ・掛川特別支援学校 校内研修会 講師
8. その他・渉外交流活動
 - ・浜松市委託子育て支援ひろば事業「発達相談」相談員・講座講師

【東海北陸作業療法連絡会】

1. 東海北陸リーダー養成研修会
 - 開催日：令和5年11月26日（日）
 - 会場：オンライン開催（静岡県）
 - 参加者：肥田 圭司 氏（熱川温泉病院）・酒井 一道 氏（伊豆函南病院）
柏 大地 氏（中伊豆リハビリテーション訪問看護そよかぜ）
宮野 真伍 氏（北斗わかば病院）
伊海 友雪 氏（中伊豆リハビリテーション訪問看護ステーションあおぞら）
石川県・富山県・福井県・愛知県・岐阜県・三重県各5名
 - 内容：講演1 これからのOT『臨床そして県士会に求められるリーダーとは』
～現場と職能団体で培った30数年から今思うこと～
山本 伸一 氏（一般社団法人 日本作業療法士協会 会長）
講演2 『医療現場におけるリーダーシップとマネジメント』
大石 裕也 氏（公益社団法人 静岡県作業療法士会 理事）
グループディスカッション
「県士会の職場の課題について解決策を検討」

【学術部】

1. 学術部研修会

1) 高次脳機能障害・モビリティー班

①第31回勉強会

開催日：令和5年7月30日（日）

会場：オンライン開催

参加者：32名

内容：OTに必要な脳画像の基礎知識

講師：浅野 友佳子 氏（文屋内科消化器科医院）

②第32回勉強会

開催日：令和6年1月28日（日）

会場：オンライン開催

参加者：16名

内容：その人らしく働くということ

講師：垂下 直樹 氏（浜松市リハビリテーション病院）

③モビリティー・マネジメント

開催日：令和6年2月3日（土）

施設代表者会議にてアンケート調査を実施

2) 精神障害班

①第1回研修会

開催日：令和5年7月30日（日）

会場：静岡県産業経済会館

参加者：21名（内 非会員：2名，学生：2名）

内容：精神科における発達障害の基礎知識から支援まで

講師：飯田 妙子 氏（聖隷クリストファー大学）

②第2回研修会

開催日：令和5年10月8日（日）

会場：静岡県男女共同参画センター あざれあ

参加者：23名

内容：精神科作業療法の個別支援

講師：宇田 英幸 氏（埼玉県立精神医療センター）

③第3回研修会

開催日：令和6年2月10日（日）

会場：静岡県男女共同参画センター あざれあ

参加者：32名（内 非会員：5名，学生：1名）

内容：司法作業療法

講師：棟近 展行 氏（府中刑務所）

3) 発達領域班

①第1回研修会 スキルアップ研修会

開催日：令和5年9月23日（土）

会場：C&Cセンターきぼう

参加者：12名

内容：発達OTが考える子どもの作業—あそび編—

講師：渥美 弘美 氏（浜松市発達医療総合福祉センター），佐々木 直美 氏（ちあーず）

伊藤 信寿 氏（聖隷クリストファー大学），星川 望 氏（つばさ静岡）

②人材育成研修会

開催日：令和5年11月19日（日）

会場：浜松こども館分室 ここ・い〜ら

参加者：10名

内容：特別支援教育について

講師：大須賀 優子 氏（公益社団法人子ども発達科学研究所）

小笠原 誠 氏（浜松市発達医療総合福祉センター）

③公開講座

開催日：令和6年2月4日（日）

会場：グランシップ

参加者：56名

内容：地域の関連職種に向けて-ICTについて-

講師：高橋 知義 氏（株式会社Linklab 保育所等訪問支援 Switch）

4) 認知症班

①認知症アップデート研修

開催日：令和5年8月20日（日）

会場：オンライン開催

参加者：16名

講師：石切山 淳一 氏（静岡リハビリテーション病院）

三輪 尚人 氏（静岡医療科学専門学校）

②ステップアップ研修会

開催日：令和6年1月21日（日）

会場：もくせい会館

参加者：18名

テーマ：認知症の人とコミュニケーション技術について

講師：川口 淳一 氏（結城病院）

②ワーキング家族会への参加「すぎなの会のつどい」

開催日：毎月第2火曜日、11月・3月第1火曜日

会場：富士市民文化会館 ロゼシアター

2. 第36回静岡県作業療法学会

開催日：令和5年7月1日（土）～7月17日（月・祝）17日間

会場：オンデマンド開催

テーマ：「実現への挑戦-静岡と作業の魅力を発信-」

学会長：岡本 博行 氏（富士リハビリテーション大学）

参加者：243名（内 非会員：1名、学生：11名）

3. 学術部会の開催

1) 学術部責任者会議

開催日：令和5年4月25日、5月26日、9月8日、11月9日、令和6年2月28日

会場：オンライン開催

【教育部】

1. 現職者研修

1) 第1回現職者共通研修（新人オリエンテーション）

開催日：令和5年5月21日（日）

会場：レイアップ御幸町ビル

参加者：85名（内3名 オンライン参加）

生涯教育制度の概要について

講師：秋山 尚也 氏（浜松市リハビリテーション病院）

テーマ①：「作業療法生涯教育概論」

講師：岡庭 隆門 氏（静岡県立こころの医療センター）

テーマ②：「作業療法における協業・後輩育成」

講師：渡邊 信介 氏（湖山リハビリテーション病院）

テーマ③：「実践のための作業療法研究」

講師：村岡 健史 氏（常葉大学）

2) 現職者選択研修（身体障害領域）

開催日：令和5年9月23日（土）

会場：プラサヴェルデ

参加者：117名

講師：市村 紋子 氏（富士リハビリテーション大学校）

テーマ①：「身体障害領域の基礎知識」

講師：増田 昌行 氏（中東遠総合医療センター）

テーマ②：「急性期の作業療法」

講師：生田 純一 氏（中伊豆リハビリテーションセンター）

テーマ③：「回復期の作業療法」

講師：齊藤 洋平 氏（NTT 東日本 伊豆病院）

テーマ④：「生活期・終末期の作業療法」

3) 第2回現職者共通研修

開催日：令和5年11月19日（日）

会場：静岡医療科学専門大学校

参加者：74～99名（WEB参加：1名）

講師：小坂 幸子 氏（JA 静岡厚生連 遠州病院）

テーマ①：「職業倫理」

講師：建木 健 氏（NPO 法人えんしゅう生活支援 net）

テーマ②：「作業療法の可能性」

講師：秋山 尚也 氏（浜松市リハビリテーション病院）

テーマ③：「保健・医療・福祉と地域支援」

講師：大庭 英章 氏（静岡医療科学専門大学校）

テーマ④：「日本と世界の作業療法の動向」

2. MTDLP 班

1) MTDLP 基礎研修会（現職者選択研修＜必修＞）

内容：MTDLP 概論，演習，日本作業療法士協会事例報告登録システムへの申請方法などの学習

開催日：令和5年9月10日（日）

会場：オンライン開催

参加者：42名

講師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），
泉 良太 氏（聖隷クリストファー大学），他ファシリテーター

2) MTDLP を活用した臨床実習指導者 実務者研修会

内容：臨床実習における MTDLP シートの活用方法と指導ポイントの学習

(1) 開催日：令和5年6月25日（日）

会場：オンライン開催

- 参加者：4名
 講師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），他ファシリテーター
- (2) 開催日：令和5年12月17日（日）
 会場：オンライン開催
 参加者：3名
 講師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），他ファシリテーター
- 3) MTDLP 実践者研修（MTDLP 事例報告会）
 内容：一事例45分間の事例検討を通して、
 MTDLP を実践・推進できる指導者育成をサポート
- (1) 開催日：令和5年6月25日（日）
 会場：オンライン開催
 参加者：11名（うち発表者：2名）
 講師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），他ファシリテーター
- (2) 開催日：令和5年12月17日（日）
 会場：オンライン開催
 参加者：5名（うち発表者：2名）
 講師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），他ファシリテーター
- 4) 日本作業療法士協会主催 MTDLP 全国推進会議
 内容：MTDLP 就労支援事例の紹介と事例審査表に基づく評価の視点，MTDLP 指導者の
 現状と課題についてのグループワークなど
- (1) 令和6年1月22日（月）
 会場：オンライン開催
 参加者：静岡県士会から3名出席
3. 事例報告会
- ①開催日：令和5年8月27日（日）
 会場：オンライン開催
 参加者：14名
 内容：「事例報告」「事例研究」
 講師：鹿田 将隆 氏（常葉大学）
- ②開催日：令和5年12月3日（日）
 会場：北斗わかば病院
 参加者：20名
 内容：「事例報告」「事例研究」
4. 臨床実習指導者講習会（静岡県）
- 1) 開催日：令和5年7月22日（土）・23日（日）
 会場：オンライン開催
 参加者：72名（内 非会員：13名）
- 2) 開催日：令和5年10月21日（土）・22日（日）
 会場：オンライン開催
 参加者：50名（内 非会員：9名）
5. 教育部会
- 1) 教育部会
 開催日：令和5年5月21日，8月27日，10月24日，令和6年2月10日
 会場：オンライン開催
 内容：活動状況の確認，課題の共有，連絡事項

6. 日本作業療法士協会 生涯教育制度推進担当者会議
 開催日：令和5年11月18日（土）
 会 場：オンライン開催
 内 容：生涯教育制度の現状，生涯教育委員会各班活動報告
 ①基礎研修班 ②認定作業療法士制度班 ③専門作業療法士制度班
 ④生涯教育受講登録システム
7. 生涯教育手帳基礎研修ポイント申請手続き及び会員からの問い合わせ等への対応

【広報部】

1. 広報活動

- 1) 広報誌（OT しずおか）No.149～No.152号の発送・発行
- 2) 一般向け広報誌の編集・発刊（年1回，Vol.8）
 内 容：「入りやすいお風呂場の環境について」
 一般向け広報誌 Vol.7 の配布
 広報誌設置場所の拡大（各施設へ配布・アンケート調査）
 周知の為，会員へ配布 病院施設等の公的な設置個所：40か所（約700部）
- 3) 広報啓発グッズの配布・作成
 →地域事業部 メディメッセージにて配布を実施
 ノベルティグッズ：ボールペン，クリアファイル追加発注

2. ホームページの管理・運営

- 1) ホームページセキュリティの強化，作業の標準化（マニュアル作成）
 サーバー内データベースの脆弱性対策としてアップデートを実施（業者委託）
- 2) プッシュ通知システムの周知
 →通知希望数 494名（※令和6年2月現在）
- 3) 公式 SNS の導入
 →公式 LINE の導入
 友達登録数 240名（※令和6年2月現在）

3. 広報部会の開催

- 1) 会議の開催 全体会議（現地開催），臨時ホームページ班会議（オンライン開催）

【地域事業部】

1. 作業療法士次世代育成

- 1) 一般市民・高校生施設見学
 開催日：令和5年7月31日（月）～8月6日（日）
 会 場：作業療法士が勤務する各病院・施設等
 参加者：11名
- 2) 次世代育成事業
 開催日：令和6年2月1日（木）
 会 場：清流館高校
 参加者：生徒38名（福祉科2年生）
 内 容：介護におけるリハビリテーションについて
- 3) 子どもたちの学習サポート事業
 自助具作製の動画を5本作成し公開
 再生回数；自助具説明動画159回，自助具作製動画各186回，152回，146回，159回
 アンケートの回答が3件（うち実際に作製した写真が2件）

2. チャレンジ事業「三保でユニバーサルビーチをやろう」の会

開催日：令和5年8月20日（日）

会 場：三保内浜海岸

参加者：68名

内 容：障害の有無に関わらずマリンスポーツ楽しむことを支援する活動

3. 作業療法啓発事業

1) ぬまづ福祉まつり

開催日：令和5年9月18日（月・祝）

会 場：キラメッセぬまづ

来場者：173名

内 容：作業療法紹介（展示），自助具展示，自助具作製体験（クリップ箸）

2) しあわせフォトコンテスト

テ ー マ：高校生活で熱中していること

対 象：高校生

応募期間：令和5年9月25日～12月31日（Instagramにて募集）

応募者数：58件（フォロワー数90名，アカウントへのアクセス数：70834件）

最優秀賞：1名，優秀賞：2名 賞金・賞状授与

4. メディメッセージ2023

開催日：令和5年10月28日（土）～29日（日）

会 場：アクトシティ浜松

来場者：1014名（28日：468名 内子ども：256名，29日：546名 内子ども：339名）

内 容：自助具紹介・作業療法体験

5. スポーツ振興事業

1) enjoy フットサル

開催日：令和5年5月～11月

参加者：年間のべ147名

2) エスパルスハートフルカップ

開催日：令和5年10月22日（日）

参加者：77名

6. 地域事業部会の開催

開催日：令和5年4月30日，令和5年12月5日

会 場：オンライン開催

【福利部】

1. 東海北陸リーダー養成研修会&第9回静岡OTリーダー育成研修会

開催日：令和5年11月26日（日）

会 場：オンライン開催（静岡県）

参加者：肥田 圭司 氏（熱川温泉病院），酒井 一道 氏（伊豆函南病院）

柏 大地 氏（中伊豆リハビリテーション訪問看護そよかぜ）

宮野 真伍 氏（北斗わかば病院）

伊海 友雪 氏（中伊豆リハビリテーション訪問看護ステーションあおぞら）

石川県，富山県，福井県，愛知県，岐阜県，三重県各5名

内 容：講演1 これからのOT，臨床そして県士会に求められるリーダーとは
～現場と職能団体で培った30数年から今思うこと～

講師：山本 伸一 氏（一般社団法人 日本作業療法士協会 会長）

講演2 医療現場におけるリーダーシップとマネジメント

講師：大石 裕也 氏（公益社団法人 静岡県作業療法士会 理事）

グループディスカッション

「県士会の、職場の課題について解決策を検討」

2. 第1回しずおかOTスポーツで交流会

開催日：令和5年9月24日（日）

会場：エスパルスドリームフィールド富士

参加者：21名

内容：有志チームによるフットサル大会の開催、会員相互の交流親睦を深める
家族参加を可能にし、子育て世代会員の交流の場を作る

3. 福利部会の開催（オンライン開催）

【制度対策部】

1. 日本作業療法士協会制度対策部との連携（情報収集、問い合わせへの対応）

2. 医療保険・介護保険・障害福祉関連情報発信（ホームページ）

3. 第1回制度対策部研修会

①開催日：令和5年10月12日（木）

会場：オンライン開催

参加者：23名（内 非会員：1名）

テーマ：チームで行う排泄支援における作業療法士の役割

講師：一木 愛子 氏（神奈川リハビリテーション病院）

②開催日：令和5年12月21日（木）

会場：オンライン開催

参加者：8名

テーマ：病院・在宅におけるノーリフティングケアの重要性

講師：緒方 幸広 氏（農協共済中伊豆リハビリテーションセンター、理学療法士）

4. 会員からの問い合わせ（保険請求、施設基準等）への対応

【調査部】

1. 第36回静岡県作業療法学会 参加者アンケートの作成・実施

学会参加者アンケート回収数：48名

2. 令和5年度施設代表者会議参加者アンケート作成・実施

参加者アンケート回収数：85名

3. 日本作業療法士協会 生活環境支援推進室「生活行為工夫情報」活動

1) 令和5年度 第1回 中部ブロック会議

開催日：令和5年6月23日（火）オンライン開催

2) 令和5年度 第2回 ブロック運営連絡会

開催日：令和5年12月23日（土）

3) 第25回SIG創造塾学術集会（生活行為工夫情報説明会）

①開催日：令和5年9月29日（金）

会場：オンライン開催

参加者：14名

【中長期ビジョンWG】

1. 県士会運営について提案会

- 1) 三役会への出席・意見
2. 会議の開催（オンライン開催・メールによる意見交換含む）
 - 1) 会員組織率の維持と会員への還元についての検討
 - 2) 組織の見える化（部局の役割）について検討
 - 3) 新人教育ラダーについて検討

【ライフワークバランス WG】

1. 「会員誰もが活躍しやすい県士会を目指すプロジェクト」について検討
 - 1) 「参加しやすい県士会」について検討
 - 2) 「離職者の再就職支援」について検討
 - 3) 「子育て世代の支援」について検討
2. 各種県士会活動への提言

【法人管理委員会】

1. 情報収集活動の継続
2. 法人としての団体管理と体制作り
3. 他団体との法人管理に関する情報交換及び情報提供
4. 細則の作成及び修正
5. 定期提出書類の作成及び提出

【災害対策委員会】

1. 第12回静岡災害リハビリテーション研修会

開催日：令和5年12月2日（土）

会 場：静岡パルシェ 会議室

内 容：講義，一般公開講座，災害リハビリテーション基礎研修

参加者：38名（内 医師：4名，PT：16名，ST：7名）
2. 静岡 JRAT 会議・三団体協議会災害対策委員会への出席
3. 災害時緊急連絡システムの管理
 - 1) 緊急連絡システム実施訓練

開催日：令和5年9月25日（土）～9月28日（火）

報告数：80件（641名）
4. 災害マニュアルの作成

【訪問リハビリテーション連絡委員会】

1. 訪問リハビリテーション地域リーダー会議（オンライン開催）への出席
2. 静岡県訪問リハビリテーション委員会会議への出席
3. 静岡県訪問リハビリテーション研修会（多職種協働研修会）シンポジウムの企画運営
4. 人材育成研修会開催

テーマ：「訪問リハ実践報告」ー今日学んで，明日出会うー

開催日：令和5年11月23日（木・祝）

会 場：沼津労政会館（東部），静岡労政会館（中部），浜松労政会館（西部）3会場一斉開催

参加者：62名（内 PT：31名，OT：20名，ST：9名，Ns：1名，その他：1名）

内 容：講義1，「小児の訪問リハビリの実際～染色体異常の幼児の事例～」

山口 貴博 氏（NPO法人びゅあ 訪問看護ステーションあおむし 理学療法士）

 2. 「SCD患者様の社会参加までの取り組み」

- 臼井 康高 氏 (CAS 株式会社 訪問看護ステーションかもめ 作業療法士)
- 3, 「生活範囲拡大に焦点を当てた訪問リハビリテーションの関わり」
- 佐野 真裕子 氏 (袋井市立聖隷袋井市民病院 作業療法士)
- 4, 「『食べる』を続けるために～オーラルフレイルへの ST の取り組み～」
- 小田 和弘 氏 (静岡リハビリテーション病院 言語聴覚士)

グループディスカッション

5. 訪問事業における連携強化と在宅医療の推進シンポジウムの開催

テーマ：同時改定における訪問事業と他職種連携のこれから

～在宅医療推進に向けたリハビリテーション専門職のこれからの姿～

開催日：令和 6 年 2 月 25 日 (日)

会 場：グランシップ

参加者：103 名 (内 PT：33 名, OT：23 名, ST：12 名, Dr：2 名, Ns：4 名,
介護支援専門員：9 名, 地域包括支援センター職員：4 名, 行政職員：11 名,
社会福祉士：3 名, その他：2 名)

内 容：基調講演；2040 年を見据えた訪問リハビリテーションの推進のあり方
～トリプル改定を踏まえて～

講師：佐々木 嘉光 氏 (公益社団法人 日本理学療法士協会 副会長)

事例発表：1, 「脳出血発症 5 年経過して、新たな居場所を見つけることができ
ST 訪問終了となった失語症症例」

小林 純子 氏 (訪問看護ステーションほたるしずおか 言語聴覚士)

2, 回復期リハビリテーション病院退院後の生活課題解決
～目標設定の仕組みと他サービスへの移行支援～

伊藤 駿 氏 (浜松市リハビリテーション病院 作業療法士)

シンポジウム：「適時適切なりハビリテーションの活用にむけた多職種連携について」

シンポジスト：有本 直人 氏 (磐田市立総合病院 医師)

清水 綾子 氏 (坂の上ファミリークリニック 看護師)

黒川 正樹 氏

(伊豆市土肥地区地域包括支援センター介護支援専門員)

司会：加納 彰 氏 (静岡県リハビリテーション専門職団体協議会)

6. 委員会議の開催 (オンライン開催)

【地域包括ケアシステム推進委員会】

1. 運営会議の開催 (オンライン開催)

2. 人材育成事業

1) 地域リハ推進リーダー研修会 (基礎編)

開催日：令和 5 年 9 月 1 日 (金) ～10 月 20 日 (金)

会 場：オンデマンド配信

参加者：67 名

2) 地域リハ推進リーダー研修会 (応用編)

開催日：令和 5 年 10 月 29 日 (日)

会 場：沼津歯科医師会, 第二大石ビル大会議室, 静岡医療科学専門大学校

東部・中部・西部 3 会場オンライン開催

参加者：35 名

3. 地域リハビリテーション推進員活動支援事業

1) 地域リハ実践者研修会

開催日：令和5年11月19日（日）

会 場：静岡パルシェ 会議室

参加者：15名

2) 地域リハビリ座談会「どうしたら参加できる！？地域リハ事業」

開催日：令和5年2月15日（水）

会 場：オンライン開催

参加者：17名

4. 日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会との情報共有と情報発信

5. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会地域包括ケアシステム推進委員会との連携

6. 委員会の開催（オンライン開催）

【表彰委員会】

1. 令和5年度静岡県作業療法士会表彰式の実施（該当者なし）

2. 令和5年度静岡県作業療法士会感謝状授与の実施（該当者なし）

3. 日本作業療法士協会・各団体からの表彰対象者の選考及び推薦，ホームページへの掲載依頼

1) 件数：16件

4. 県内養成校優秀学生の表彰（4校各1名）

1) 対象者：井畑 優日 氏（静岡医療科学専門大学校）

松田 紗季 氏（常葉大学）

坂下 聖香 氏（聖隷クリストファー大学）

伊藤 美有紀 氏（専門学校富士リハビリテーション大学校）

【事務局・財務部・総務部】

1. 事務局

1) 会員管理業務

①会費請求・会員管理システム管理運営

②会費督促状の作成・発送

2) 県士会窓口業務

①対外的な窓口・公文書への対応

②会員からの問い合わせ対応等

3) 事務局の維持管理

①事務所及び備品の管理運営

②県士会の維持管理

2. 財務部

1) 会費・運営費の管理

①各部局の出納帳確認と会計ソフト入力

2) 予算書・財務諸表作成

3) 会計マニュアルの修正・作成

4) 財務部会・会計担当者会議の開催（オンライン開催）

5) 予算審議委員会

6) 部員謝金支給

7) 中長期財務運用の検討

3. 総務部

1) 理事会の運営

2) 総務部会の開催（オンライン開催）

3) 総会の運営

①総会議案集の編集・作成・発送

②令和5年度定時社員総会開催

4) 事務局・財務部合同会議の開催

開催日：令和5年9月30日(土)

会場：第二大石ビル 大会議室

5) 総務部会の開催(理事会前 オンライン開催)

6) 物品借用管理規程・ラベル作成, 規約検討・作成

7) 規約検討委員会の開催

①開催日：令和6年1月13日(土)

②開催日：令和6年3月17日(日)

会場：第二大石ビル 大会議室

8) 倫理委員会の開催(オンライン開催)